

神戸の須磨海岸を

# 里海に

団体名：すまうら水産有限責任事業組合、一般社団法人須磨里海の会、兵庫県、神戸市

# スマ Suma豊かな海プロジェクト 2023~

兵庫県神戸市に位置する須磨海岸は、阪神間で最も多くの方が訪れる海水浴場として有名ですが、その沖には漁場が広がり、港湾区域でもあります。多面的に利用されている海で、本来の生物多様性や生産性を保つ『豊かな海』を目指し、保全や啓発活動を通じて、より多くの方に海の豊かさを享受いただけるよう活動しています。

## 地域&官民連携



兵庫県や神戸市が人工海浜や漁場など太陽光の届く浅場を整備し藻場が形成されやすい基質となっています。そこで、すまうら水産が海苔やワカメなどの海藻類の養殖や海環境保全に取り組み、須磨里海の会とアマモの植栽などの藻場づくり等を行っており、地域の協力を得て官民が連携した活動をしています。

## 藻場のダイバーシティ



人工遠浅海岸ではアオサ場、アマモ場、その潜堤では主にアカモクが繁茂するガラモ場、沖の消波ブロックにはワカメ場、築磯の漁場にはカジメ場といった多様な藻場が形成されています。今後、これらの藻場を適切に保全および拡大することにより、多様性に富んだ生態系の形成（ダイバーシティ）を目指して活動しています。

## 持続可能な仕掛け



『Suma豊かな海プロジェクト』の一環で、海岸清掃・里海教室・地引網体験・環境調査などの参加型イベントを実施し、海に関わる様々な取り組みを行うとともに、楽しく持続可能なプロジェクトを目指して、海への関心をもち活動に参加する人を増やす取り組みも行っています。

# Jブルークレジットで、 須磨海岸の豊かな海を守り育てる

## ご提案

### 「神戸の須磨海岸を里海に」 Suma豊かな海プロジェクト

須磨海岸を、きれいなだけでなく、生物多様性と生産性に富んだ「里海」として次世代へつなぐことを目指す取り組みです。漁業者、市民団体、行政が連携し、須磨海岸の豊かな海を守り育てています。

神戸の須磨海岸を

里海に

スマ

Suma豊かな海プロジェクト

2023~

団体名：すまうら水産有限責任事業組合、一般社団法人須磨里海の会、兵庫県、神戸市

兵庫県神戸市に位置する須磨海岸は、阪神間で最も多くの方が訪れる海水浴場として有名ですが、その沖には漁場が広がり、港内区域でもあります。多面的に利用されている海で、本来の生物多様性や生産性を保つ「豊かな海」を目指し、保全や啓発活動を通じて、より多くの方に海の豊かさを享受いただけるよう活動しています。

#### 地域&官民連携



兵庫県や神戸市が人工海藻や海苔など太陽光の弱く漁獲を管理し環境が形成されやすい基質となっています。そこで、すまうら水産が海苔やワカメなどの海藻類の養殖や海の環境保全に取り組み、須磨里海の会とアマモの植栽などの連携づくり等を行っており、地域の協力を得て官民が連携した活動を行っています。

#### 藻場のダイバーシティ



人工造成海岸ではアオサ場、アマモ場。その周囲では主にアカモクが繁殖するが少毛類。沖の潮流ブロックにはワカメ類。藻場の海境にはカシメ類といった多様な藻場が形成されています。今後、これらの藻場を適切に保全および拡大することにより、多様性に富んだ生態系の形成（ダイバーシティ）を目指して活動しています。

#### 持続可能な仕掛け



『Suma豊かな海プロジェクト』の一端で、海岸清掃・里海教室・地引網体験・環境調査などの参加型イベントを実施し、海に関わる様々な取り組みを行うとともに、楽しく持続可能なプロジェクトを目指して、海への関心をもち活動に参加する人を増やす取り組みを行っています。

Jブルークレジットとは：

海の植物や沿岸生態系が吸収・貯留したCO<sub>2</sub>（ブルーカーボン）を、取引可能なカーボンクレジットとして認証・発行する日本の制度です。

## 導入メリット



### 脱炭素施策の具体化

CO<sub>2</sub>吸収価値を利用した  
具体的な環境アクション



### 海洋保全・生物多様性 への貢献

アマモの播種、海苔、ワカメ  
養殖など地域に根ざした  
取り組みを支援



### CSR・ESG発信荷活用

地域協創型の環境保全活動  
として社内外に説明しやすい  
メッセージ

企業の環境配慮を地域とともに未来へつなぐ取り組みへ

実施団体：一般社団法人須磨里海の会・すまうら水産有限責任事業組合・兵庫県・神戸市  
Jブルークレジットの詳細はこちら：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）  
<https://www.blueeconomy.jp/credit/public-offer/>